

法改正で問われる薬局機能 地域で求められる役割を

薬剤師に変革促す趣旨

地域の医薬品供給拠点に

昨年末に公布した改正医薬品医療機器等法は9月に関連省令の第1弾が施行され、薬局薬剤師に対して服薬期間中の継続的な患者フォローが義務化された。来年には、地域連携薬局や専門医療機関連携薬局など特定の機能を持つ薬局の認定・表示制度も導入される予定で、改正薬機法への対応は待ったなしの状況だ。新型コロナ

——4期目の新体制を
開始し、どのような重点
課題に取り組んでいくか。
改正薬機法への対応が
最重点課題だ。2014
年に旧薬事法から医薬品
医療機器等法に改正さ
れ、5年後に見直しが行
われたわけだが、新たに
何かを追加したというよ
り、法律のコンセプトが
大きく変わったという認
識を持っている。日本
で薬剤師、薬局の制度が
できたといわれている18
89年成立の「薬品営業
並薬品取扱規則(薬律)」
から幾度となく改正が行

わてきたが、その中で
も最も大きいパラダイム
シフトが起きた大改正と
言えるかもしれない。
服薬期間中の継続的な
患者フォローや地域連携
薬局や専門医療機関連携
薬局に薬剤師や関係者の
注目が集まっているが、
法律全体を俯瞰してみ
ると、調剤だけではなく、
患者や地域住民に必要な
医薬品を扱い、情報提供
や服用している薬の相談
にも応えられるよう薬剤
師がしっかりと対応して
いくことが盛り込まれて
いる。調剤だけを行う、

ナウイリスの感染拡大で処方箋枚数が減少し、
薬局経営に打撃を与える厳しい状況下で、日本
薬剤師会学術大会で大会長を務める日薬の山本
信夫会長に、4期目となる新体制の舵取りや改
正薬機法への対応、薬剤師や薬局のあり方がど
うあるべきか聞いた。

OTC医薬品だけを販売
するといった薬局につ
いては明確に否定してお
り、薬局や薬剤師が地域
にとってなぜ必要かを考

分業のあるべき姿目指す

——「医薬分業対策委
員会」を解消して「地域
医薬品提供体制対策委員
会」に名称を変えた。

薬局での処方箋受取率
が1991年には13%、
2003年に50%を突破
し、平成の30年間で19
74年当初の目標値であ
る70%を超えた。

当初の数量的な目標は
達成できたと思ってい
るが、いわゆる医薬分
業が現実のものとなっ
た院外処方箋の発行がス
タートした初期に描い
ていた先達のイメージで
現状や社会的な要求や自
らの目指した方向に進
んできたかと問われる
と、確信を持って十分
とは言えず、「応えられ
た部分と応えられなかつ

としているのが、今回の
改正薬機法の趣旨だと考
えている。新執行部では
改正薬機法が伝えている
メッセージを正確に読み
取り、薬局が地域の医薬
品供給拠点として変わっ
ていくために取り組んで
いく。

——新執行部には日
本保険薬局協会、日本
チェーンドラッグストア
協会からも人材を登用し
た。

改正薬機法ではこれま
でのように「薬剤師は医
師の処方箋に基づいて調
剤する人」「薬局は調剤
する場所」という概念を

大きく変えて、医薬品に
関する様々なことどう
対応していくかを薬剤
師・薬局の両者に求めて
いる。

こうした問題に対応し
ていくためには、医薬品
の地域への提供に関わる
他団体との連携も必要に
なる。両団体とはアプ
ローチが違っているも薬
剤師として目指すところ
は共通していると認識し
ている。医薬品を扱う職
業団体と薬剤師の職能団
体とは立ち位置に違い
はあるが、一緒に取り組
んでいく意義は大きいも
のと考えている。

そのような時代に向け
て、医薬品を供給する薬
剤師が医薬品のコント
ロールをする必要があ
り、処方箋の応需だけに
とらわれた「医薬分業」
という概念では今後、地
域で求められる医薬品の
提供体制を組むことはで
きない。

という理解で「医薬分
業」が捉えられ、現在
に至っている。これまで
の医薬分業運動は処方箋
獲得と変わらないという
社会の指摘についての反
省がある。

委員会名から医薬分業
という言葉をやさわざ外
し、医薬品の提供体制に
焦点を当て、本来の「医
薬分業制度」を目指すた
めに名称を変更した趣旨
で、医薬分業を捨てたわ
けではない。

ただ、いつの頃からか
「処方箋の発行・応需」
が現実のものとなっ
た院外処方箋の発行がス
タートした初期に描い
ていた先達のイメージで
現状や社会的な要求や自
らの目指した方向に進
んできたかと問われる
と、確信を持って十分
とは言えず、「応えられ
た部分と応えられなかつ

継続的な服薬指導の義務化

本来やるべきことを明文化

——改正薬機法では地
域連携薬局と専門医療機
関連携薬局が新たに設け
られる。

9月には薬機法の省令
改正第1弾が施行され、

健康 Station

Next Stage

患者 Area

調剤薬局 Area

からはじまる 豊かな未来へ

i-TEC SOFTWARE

アイテックソフトウェア株式会社

Genoplan

かかりつけ薬局の健康サポートとして
「遺伝子」から健康へのサービス 始めませんか？

【遺伝子解析サービスのお問合せ先】

アイテックソフトウェア株式会社
調剤システム部

TEL.06(6456)5227



遺伝子解析サービス

Genoplan の遺伝子検査で分析できる項目
世界最多500の分析項目*

★2020年5月時点 自社調べ

がん	30	一般疾患	196	体質	274
胃がん	腎臓がん	2型糖尿病	脳梗塞	内臓脂肪	男性型脱毛症
大腸がん	すい臓がん	肥満	認知症	下半身肥満	心肺持久力
肺がん	食道がん	脂質異常症	統合失調症	過食症	筋力発達
乳がん	子宮頸がん	高血圧	アルツハイマー病	リバウンド	ビタミン
前立腺がん	甲状腺がん	心筋梗塞	うつ病	肌の弾力	長期記憶力
肝臓がん	急性白血病 ... 等	脳出血	骨粗鬆症 ... 等	色素沈着	協調性 ... 等

自身の持つ遺伝的なリスクや
体質の把握
✓ がんや疾患リスク
✓ ビタミンや栄養素の相性
✓ 肌の傾向

将来に備えた日常生活の改善

✓ 健康習慣の改善
✓ 食習慣の改善
✓ サプリメントや美容アイ
テムの改善

<検査フロー>
* キットに唾液を抽出、
あとは投函・郵送するだけ

<結果レポートサンプル>
* スマホ・PC・冊子で閲覧可能



Genoplan による
分析・データ統合後、
結果レポート発行



当ファイルの著作権は(株)薬事日報社またはコンテンツ提供者に帰属します。当ファイル(印刷物含む)の利用は私的利用の範囲内に限られ、それ以外の無断複製・無断転載・無断引用はご遠慮ください。当ファイル(印刷物含む)を社内資料、営業資料などでご利用される場合はご相談ください。

株式会社薬事日報社 TEL:03-3862-2141 shinbun@yakuji.co.jp http://www.yakuji.co.jp/

薬機法改正を議論した厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会では、薬剤師の業務が見えないと指摘され、時として「薬剤師不要論」と思える議論もされた。地域住民が自分に合った薬局を選べるように地域連携薬局や専門医療機関連携薬局という機能を新たに位置づけたことには意味があるが、それだけで地域の中で薬剤師の役割が見えやすくなるのかと言え、簡単なことではないと考えている。

一般の病院と高度な医療を提供する特定機能病院が機能別に区分されているが、患者から見たときに特定機能病院の機能を正しく認識されているのかは定かではない。われわれも単に地域連携薬局や専門医療機関連携薬局を標榜するだけでは十分ではなく、その薬局（薬剤師）が地域の医療機関や他の薬局とに連携して、持てる機能を十二分に果たしていかなければならない。

真の意味で地域連携薬局や専門医療機関連携薬局は生まれてこないと考えている。まずは、社会から期待される薬局が増加し、その後に新たな機能を有した薬局がだんだんと新たな機能を有した薬局として成長していくので、増加するのはまだ少し先の話ではないかと思う。

「薬剤服用期間中の患者フォローアップ」の手引き」を作成した。次回来局時までにフォローアップが必要となる患者の考え方や患者への確認事項などについて解説しているの、活用してほしい。

に「薬剤師がしっかりと対応していく必要性は10年以上にわたって指摘されてきたし、患者のための薬局ビジョンや薬剤師法でも示されている。しかし、薬剤師が行う服薬指導は診療報酬という保険の世界だけで評価されていたのが実態だった。報酬と直結することとなり、本来「患者の服薬状況等を把握し確認し観察することも薬剤師の任務」であることを、忘れてしまったのではないだろうか。

指導が義務化されたことにより、法的根拠に基づいて薬剤師に一定の水準までの仕事をさせ、その業務の質を診療報酬・調剤報酬が評価していくという流れに変化していくものと認識している。その一方で、継続的な服薬指導ができない薬剤師は診療報酬上の問題とは別の次元で責任が問われてくる。法律で薬剤師がやるべきことを明示し、その成果を診療報酬や調剤報酬が評価していく意味では大きな変化だと思っている。

本邦の国民が等しく薬剤師サービスを受けられない状況を作ってしまったといけない。そこはわれわれにも責任があるので、こういう役割を演じるのかしっかりと考えていかないといいけない。わが国で「薬剤師が何も知らないところで薬が使われる」という環境だけは作りたくないし、そういう環境にはしたくない。

かねてから日薬では、薬学部を増設に反対する姿勢を示してきた。ただ各論的に言えば、もし地域に薬学部がないことが薬剤師偏在の理由だとするならば、増設するべきとの意見があるのも間違いない。本邦にその地域に薬学部を創設する必要があるのかについて真剣に考えなければならぬ。

コロナ禍 薬局はより重要に

薬剤師需給適正数議論を

——新型コロナウイルス感染症への対応が薬局経営にダメージを与えている。薬局のあり方は。

コロナ時代では薬局の位置づけはより重要性が増すと考えている。他の医療職種と同様に薬局や薬剤師も新型コロナウイルスから逃げることは許されない状況にある。感染リスクに配慮しながら、地域の医療における医薬品提供拠点としての役割を果たしていく必要がある。

薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会で、薬剤師の需給調査が始まった。

国内の薬剤師総数は約32万人と海外に比べて多すぎるとの指摘がある。薬剤師の数を減らすと患者や住民にとっては、薬剤師から受けられる恩恵が減るわけで、そのためには一定の人数は必要になる。薬剤師が社会からの期待に応えられていないという批判は真摯に受け止めるが、薬剤師がいらないという主張はいささか乱暴な議論だと思う。わが国で必要とされる

薬剤師の数がどの程度なのかをきちんと議論した上で、需給を検討してほしい。現状の調査だと薬剤師の供給が需要を上回るとの結果もあるようだ

に「薬剤服用期間中の患者フォローアップ」の手引き」を作成した。次回来局時までにフォローアップが必要となる患者の考え方や患者への確認事項などについて解説しているの、活用してほしい。

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

例えば、東京でも薬剤師から医薬品を供給されていない地域がある。無

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

例えば、東京でも薬剤師から医薬品を供給されていない地域がある。無

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

配信併用し学習機会確保

——新型コロナウイルス感染症への対応が薬局経営にダメージを与えている。薬局のあり方は。

コロナ時代では薬局の位置づけはより重要性が増すと考えている。他の医療職種と同様に薬局や薬剤師も新型コロナウイルスから逃げることは許されない状況にある。感染リスクに配慮しながら、地域の医療における医薬品提供拠点としての役割を果たしていく必要がある。

薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会で、薬剤師の需給調査が始まった。

国内の薬剤師総数は約32万人と海外に比べて多すぎるとの指摘がある。薬剤師の数を減らすと患者や住民にとっては、薬剤師から受けられる恩恵が減るわけで、そのためには一定の人数は必要になる。薬剤師が社会からの期待に応えられていないという批判は真摯に受け止めるが、薬剤師がいらないという主張はいささか乱暴な議論だと思う。わが国で必要とされる

薬剤師の数がどの程度なのかをきちんと議論した上で、需給を検討してほしい。現状の調査だと薬剤師の供給が需要を上回るとの結果もあるようだ

に「薬剤服用期間中の患者フォローアップ」の手引き」を作成した。次回来局時までにフォローアップが必要となる患者の考え方や患者への確認事項などについて解説しているの、活用してほしい。

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

例えば、東京でも薬剤師から医薬品を供給されていない地域がある。無

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

例えば、東京でも薬剤師から医薬品を供給されていない地域がある。無

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

——新型コロナウイルス感染症への対応が薬局経営にダメージを与えている。薬局のあり方は。

コロナ時代では薬局の位置づけはより重要性が増すと考えている。他の医療職種と同様に薬局や薬剤師も新型コロナウイルスから逃げることは許されない状況にある。感染リスクに配慮しながら、地域の医療における医薬品提供拠点としての役割を果たしていく必要がある。

薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会で、薬剤師の需給調査が始まった。

国内の薬剤師総数は約32万人と海外に比べて多すぎるとの指摘がある。薬剤師の数を減らすと患者や住民にとっては、薬剤師から受けられる恩恵が減るわけで、そのためには一定の人数は必要になる。薬剤師が社会からの期待に応えられていないという批判は真摯に受け止めるが、薬剤師がいらないという主張はいささか乱暴な議論だと思う。わが国で必要とされる

薬剤師の数がどの程度なのかをきちんと議論した上で、需給を検討してほしい。現状の調査だと薬剤師の供給が需要を上回るとの結果もあるようだ

に「薬剤服用期間中の患者フォローアップ」の手引き」を作成した。次回来局時までにフォローアップが必要となる患者の考え方や患者への確認事項などについて解説しているの、活用してほしい。

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

例えば、東京でも薬剤師から医薬品を供給されていない地域がある。無

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

例えば、東京でも薬剤師から医薬品を供給されていない地域がある。無

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

——新型コロナウイルス感染症への対応が薬局経営にダメージを与えている。薬局のあり方は。

コロナ時代では薬局の位置づけはより重要性が増すと考えている。他の医療職種と同様に薬局や薬剤師も新型コロナウイルスから逃げることは許されない状況にある。感染リスクに配慮しながら、地域の医療における医薬品提供拠点としての役割を果たしていく必要がある。

薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会で、薬剤師の需給調査が始まった。

国内の薬剤師総数は約32万人と海外に比べて多すぎるとの指摘がある。薬剤師の数を減らすと患者や住民にとっては、薬剤師から受けられる恩恵が減るわけで、そのためには一定の人数は必要になる。薬剤師が社会からの期待に応えられていないという批判は真摯に受け止めるが、薬剤師がいらないという主張はいささか乱暴な議論だと思う。わが国で必要とされる

薬剤師の数がどの程度なのかをきちんと議論した上で、需給を検討してほしい。現状の調査だと薬剤師の供給が需要を上回るとの結果もあるようだ

に「薬剤服用期間中の患者フォローアップ」の手引き」を作成した。次回来局時までにフォローアップが必要となる患者の考え方や患者への確認事項などについて解説しているの、活用してほしい。

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

例えば、東京でも薬剤師から医薬品を供給されていない地域がある。無

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

例えば、東京でも薬剤師から医薬品を供給されていない地域がある。無

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

——新型コロナウイルス感染症への対応が薬局経営にダメージを与えている。薬局のあり方は。

コロナ時代では薬局の位置づけはより重要性が増すと考えている。他の医療職種と同様に薬局や薬剤師も新型コロナウイルスから逃げることは許されない状況にある。感染リスクに配慮しながら、地域の医療における医薬品提供拠点としての役割を果たしていく必要がある。

薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会で、薬剤師の需給調査が始まった。

国内の薬剤師総数は約32万人と海外に比べて多すぎるとの指摘がある。薬剤師の数を減らすと患者や住民にとっては、薬剤師から受けられる恩恵が減るわけで、そのためには一定の人数は必要になる。薬剤師が社会からの期待に応えられていないという批判は真摯に受け止めるが、薬剤師がいらないという主張はいささか乱暴な議論だと思う。わが国で必要とされる

薬剤師の数がどの程度なのかをきちんと議論した上で、需給を検討してほしい。現状の調査だと薬剤師の供給が需要を上回るとの結果もあるようだ

に「薬剤服用期間中の患者フォローアップ」の手引き」を作成した。次回来局時までにフォローアップが必要となる患者の考え方や患者への確認事項などについて解説しているの、活用してほしい。

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

例えば、東京でも薬剤師から医薬品を供給されていない地域がある。無

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

例えば、東京でも薬剤師から医薬品を供給されていない地域がある。無

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

——新型コロナウイルス感染症への対応が薬局経営にダメージを与えている。薬局のあり方は。

コロナ時代では薬局の位置づけはより重要性が増すと考えている。他の医療職種と同様に薬局や薬剤師も新型コロナウイルスから逃げることは許されない状況にある。感染リスクに配慮しながら、地域の医療における医薬品提供拠点としての役割を果たしていく必要がある。

薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会で、薬剤師の需給調査が始まった。

国内の薬剤師総数は約32万人と海外に比べて多すぎるとの指摘がある。薬剤師の数を減らすと患者や住民にとっては、薬剤師から受けられる恩恵が減るわけで、そのためには一定の人数は必要になる。薬剤師が社会からの期待に応えられていないという批判は真摯に受け止めるが、薬剤師がいらないという主張はいささか乱暴な議論だと思う。わが国で必要とされる

薬剤師の数がどの程度なのかをきちんと議論した上で、需給を検討してほしい。現状の調査だと薬剤師の供給が需要を上回るとの結果もあるようだ

に「薬剤服用期間中の患者フォローアップ」の手引き」を作成した。次回来局時までにフォローアップが必要となる患者の考え方や患者への確認事項などについて解説しているの、活用してほしい。

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

例えば、東京でも薬剤師から医薬品を供給されていない地域がある。無

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

例えば、東京でも薬剤師から医薬品を供給されていない地域がある。無

が、何を基準にしたら薬剤師が余るのか示さないといけない。

患者さんとの絆をつなぐ

“ てんかんと共に生きる私の人生は困難からのスタートでしたが、ある種の自己発見に至りました。てんかんにより、自分の人生を新しい視点でとらえ、自らの行動を変えることができました。最終的には、自分自身を外から客観的に考えられるようになったのです ”

LaKeisha, living with epilepsy

重篤な疾患と共に生きる患者さんとそのご家族が、笑顔を取り戻し、人生の喜びを感じていただくことがユーシーピージャパンの願いです。私たちは患者さんを全ての中心に据えて、ニューロロジーと免疫・炎症領域に力を注いでいます。患者さんに鼓舞されて、最先端の科学、革新的な医薬品、実用的なソリューションをさらに一歩進めます。

ユーシーピージャパン株式会社
www.ucb.com

ucb Inspired by patients.
Driven by science.